

# 進路だより

令和4年3月3日  
大阪府立守口支援学校  
進路指導部発行第3号  
3 学 内 第 257 号

日頃より、進路指導部の活動にご理解とご協力いただきまして感謝申し上げます。  
新型コロナウイルス感染拡大防止として、進路行事をいくつか中止又は、延期することとなりましたが、個別の進路指導については、担任と連携のもと懇談等を通じて児童生徒及び保護者の願いをふまえて変わりなく進めていきます。

## PTA 進路講演会 「卒業後の進路と社会生活」

### ～保護者の立場から～

2年ぶりのPTA 進路講演会を実施するにあたり、保護者様のニーズを知るため、PTA 役員様にアンケートを取らせていただきました。その中に、『卒業後数年の保護者のお話を聞きたい。』『在学中に利用できるサービスは?』等のご意見があり、前回に引き続き卒業生の保護者である大澤法子様と古谷万里子様をお招きして、在学中や卒業後のエピソードをお聞きました。さらに、「障がい児支援サービス」についての現状を、本校支援教育コーディネーター 竹尾 聡からご紹介しました。

古谷様は、高等部で寝屋川支援学校に進学した際、母親の心配とは逆に、「高校生になる!」ことと、学校(環境)が変わることが良い意味でつながり、不安定になることなく新しい環境に馴染めたそうです。また、ちょっと難しい課題を日常に設定することで、達成感を味わい、ご本人の成長が見られたと話されていました。進路決定するまでのプロセスでは、「福祉事業所見学」に参加したことが卒業後のイメージを持つことができて良かったと話されていました。

大澤様からは、言葉を飾らず、熱い思いを込めた口調で話をしていただきました。就労継続支援 B 型から生活介護に利用が変わられたことや、ご自身がいろいろな地域支援を受けられた中で、地域支援のありがたさに気づき、現在は【支援する側】の活動(お子様も利用しているグループホームの運営)にご尽力されている経緯も聞かせていただきました。その経験の中から、具体的なお話が多くありました。まずは、『身近自立に取り組む』ことが本人や支援者にとって大切であることや『将来に必要な経済面のお話』等が特に印象的でした。また、ご自身は、PTA活動には一切関わっておられなかったのですが、今は保護者同士のネットワークで情報を共有することで、一人で抱え込まないことの大切さを伝えられていました。最後に、座右の銘として「快食、快眠、快便!」の言葉で、会場からは笑いが沸き上がっていました。



## ～～保護者の感想～～

・卒業されたお子様のお母さんの話をじっくり聞けたらいいのと思っていたので、とても良い経験になったし、わざわざ話をしてくださってとても嬉しかったです!ありがとうございます!!

寝屋川支援に行くのは、うちの子どももそうなので、とても不安でしたが、同じ立場のお母さんが笑顔「皆すくなじんだ。」とおっしゃってくれて、少し楽しみになり、心が軽くなりました。

支援サービス等は情報を得るのが、私にとってはとても難しく思っていたので、色々聞けて良かったです。

・今の自分にとって知りたいことが沢山聞けた講演会でした。特に、「在学中に取り組んでおけばよかった事」として、身辺自立がある程度できていると将来グループホームに入所した際、ホームのスタッフさんが楽であるというお話には、結果として子どものためにもなることなので、日々スモールステップで頑張ろうという気持ちになりました。通所中の日々の子どもの様子の変化にも気を付ける重要性。卒業後の余暇の過ごし方等、ためになるお話ばかりでとても興味深かったです。卒業時に困ることがないように事前に色々準備できるようにしたいと思います。ありがとうございました。



## 北河内成人のつどい

今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のために集合開催での式典は中止となりました。ただ、皆さんの成人をお祝いしたい思いを込めて、記念DVDと事業所が制作した記念品を贈らせていただきました。



## 今年度の進路相談・指導を振り返って

令和3年度 小学部卒業生の進路先	総数	守口市在住	門真市在住
守口支援学校（中学部）	8	3	5

令和3年度 中学部卒業生の進路先	総数	守口市在住	門真市在住
守口支援学校（高等部）	13	13	
寝屋川支援学校（高等部）	8		8
むらの高等支援学校	1	1	
東朋高等専修学校	1		1
	23	14	9

※守口支援、寝屋川支援については3/14受検予定のため入学見込み数

令和3年度卒業生の進路予定先		総数	男	女
くらし工房けいはん（就労継続支援B型） センターケア（生活介護）※併用 SMILE（生活介護） GOODY大日（就労継続支援B型） ういず守口（就労移行）	守 口 市	1 0.5 1 1 1	0.5	1 1 1
クローバー（就労移行） ジェイ・エス ステージ（生活介護）※併用 かどまつ苑（生活介護）※併用	門 真 市	1 0.5 0.5	1 0.5	0.5
縁（生活介護） マハロ（生活介護）※併用 ハッピーアクア（就労継続支援B型） ビアンカ（自立訓練）	他 市	1 0.5 2 2	1 2 1	0.5 1
グリーンライフ守口 大阪税関 エスペック株式会社スマイルファーム スポーツオーソリティー イオン四條畷 チャオパニックティピィ イオンモール四條畷	企 業	1 1 1 1 1	1 1	1 1
26期生		17	10	7

※0.5は併用利用

## 「福祉就労関係」

今年度も高等部3年生の進路実現にあたり、生徒や保護者の方と共に「日中活動の場」となる福祉事業所に訪問しながら情報交換や相談・調整に努めました。また、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため地域の各障がい福祉専門部会（通所サービス部会、相談支援部会、就労支援部会等）がオンラインでの実施になり、密に連携をとることが困難でした。関係機関とは電話やメール等を活用して進路担当者が本校の進路ニーズの発信や新たな仕組み作りに取り組むことで、進路先一覧の結果となりました。

支援学校卒業後すぐに就労継続支援B型を利用する際に必要となる在学中の就労アセスメント等、障害者総合支援法に基づく動きが展開される中、支援学校での進路相談や進路学習、現場実習のあり方も大きな変容が求められています。

計画相談については、守口市相談支援部会や障がい福祉課と基本的な体制を構築し、一定の仕組みが出来上がっています。併行して在学中の障がい児相談支援の利用者も増えてきており（放課後等デイ等）、高等部進学以前から、本人保護者と相談支援員との密な相談をされているケースがほとんどです。また、就労アセスメントについては、就労移行支援事業所でのアセスメント実習（3年）を5件実施し、生徒の進路学習の積み上げや職業適性の見極めに結びつけることができました。

このように刻一刻と変化する障害福祉サービスに適応した進路相談体制を、今後も地域や家庭と連携しながら更に築いていきたいと考えています。

## 「企業就労関係」

本校高等部ではコース制を展開しながら両コースにも企業実習や作業学習を組み込み「働きたい！」という意欲や姿勢を実践的に育てています。このような学習の積み上げをベースに、今年度は職業自立コースの生徒5名が企業就労となりました。

就職がゴールではなく職場定着が大きな目標ですので、職業自立コースでは生徒自身が2年次までの学習を通して、自分に適した働き方を考えた上で3年生を迎えるカリキュラムになっています。

また、生活自立コースについても、個々の課題に合わせた学びを校内で行い、適切なタイミングでの企業実習を設定しています。もちろん担任や進路担当も十分なアセスメント（実態把握・評価）をしながら個々の生徒にマッチングした働き方を共に考え、職場開拓に努めています。

新型コロナウイルス感染拡大の中で、実習企業や取り組む内容に変更があったり、WEB面接に対応したり生徒たちの就労に向けて求められるスキルが変容しています。今後も企業と連携を取りながら、就労支援に向けての取り組みを続けていきたいと思えます。

本校では地域の就労支援機関であるハローワーク門真に年度当初の学校訪問で生徒と面談をして頂いたり、長期実習前の事前・事後学習で専門的な視点からのアドバイスを受けたりしています。北河内西障害者就業・生活支援センター「わーくぷらす」に「働く上で大切なこと」というテーマで後期現場実習前後に授業をして頂いております。

「将来にわたって長く働き続ける就労」の実現のためには、生徒本人が在学中に就労に向けた力や意識をキャリアアップしていくのはもちろんですが、このような卒業後の地域での支援体制も欠かせません。本校校区内の学校、福祉、労働関係機関が一緒になって協働することで意識を高めてこられたことは、本校としても本当に心強く、有り難いことと感謝しております。

今後も安定した職業生活自立の実現に向け、引き続き、ご家庭のサポートもよろしくお願い致します。

## 26期生の皆さん！ ご卒業おめでとうございます。

この一年間、進路実現に向けて一緒に取り組んできましたが、いよいよ社会参加の第一歩を踏み出す時が来ましたね。それぞれの進路先で自分の気持ちに正直にがんばってください。

それでは卒業生の皆さんの新天地でのご活躍を期待しております。次回は進路先や同窓会で“笑顔”でお会いしましょう！

「楽しめば、きっと成功する。」(新庄剛志(北海道日本ハムファイターズ監督)より)

(進路担当 杉田俊之／古賀稚基)